

天保時代の飢餓と西尾藩

文化振興課市史編纂担当 松井直樹

天保7（1836）年5月
から7月まで雨風にて大水が
出て田畑ともに荒地同様とな
り、翌8年も度々大雨大水を
繰り返し、8月13日には大風
で家屋が倒壊するなどの被害
がありました。その後も大飢
饉と悪年が続き、諸物価も高
騰。6年に金十両で米十五俵
が買えたものが、9年には2
倍に跳ね上がり、米八俵しか
買えなくなりました。このた
め、西尾藩は「殿様御慈悲」
をもって、金十両で米十俵と
する安売りを行っています。

一方、凶年が続いて多くの
農民が生活困難となり年貢が
払えなくなつたため、西尾藩
領の村々は、9月から11月ま
で西尾藩御役所に通い詰めて
「御救米」「田畑御用捨米」
を嘆願しました。その結果、
役所は彼らの願いを受け入れ
丁田村では、米七十四俵の田
畑方年貢御用捨、米三十俵の

御救米、米二十五俵の御拝借
米などの措置がなされました。
庄屋は「村の半分は飢え、村
で身柄のよい者が救米として
米一俵または二俵ずつ出し合
つて難渋の者へ与え、麦・ひ
えなどの施しをした」と難渋
の様子を記しています。

深池村では、4軒が江戸へ
の中間奉公や日雇いに出て田
地の耕作を放棄し、15軒が同
様な状態に陥つて潰れ百姓に
なろうとしていました。また、
村56軒のうち26軒が難渋者と
して書き上げられています。
難渋者はおかなりの土地持ち百
姓も含まれ、悪条件が加われ
ばたちまち、極難層へと転落
してしまつたのでした。
窮乏化の進行する天保期の
農村復興、立て直しが西尾藩
の課題となり、藩の地方役に
協力する「作方御世話人衆」
が村方に任命され、さまざま
な施策を実施しています。

キッズアルバム



あやみ
鈴木 彩心ちゃん
(熊味町)

平成23年10月生まれ
食べるの大好きあやち
ゃん♡たくさん食べて
大きくなってね!



たくや
井上 拓哉くん
(山下町)

平成23年10月生まれ
お姉ちゃんが大好きな
拓哉。ずっと姉弟仲良
しでいてね♡



りゅうと
榊原 ゆずなちゃん
(戸ヶ崎三丁目)

平成23年10月生まれ
歌とお絵描きが大好き
なゆず♡元気にすくす
く育ってね♪



りゅうと
川原 琉人くん
(亀沢町)

平成23年4月生まれ
いつもニコニコ笑顔の
琉ちゃん。周りのみん
なを幸せにしてね☆



はる
米津 晴くん
(米津町)

平成23年4月生まれ
笑顔がかわいい晴くん。
お姉ちゃんと弟と仲良
く育ってね。



なほ
岩本 奈桜ちゃん
(一色町)

平成24年3月生まれ
おてんば娘の奈桜ちゃ
ん♡かわいい笑顔をあ
りがとう☆大好きだよ。



みなと
河田 湊翔くん
(住崎四丁目)

平成24年3月生まれ
お兄ちゃんお姉ちゃん
と仲良しみーくん☆元
気に優しく育ってね♡



ゆい
鈴木 結衣ちゃん
(吉良町)

平成24年1月生まれ
笑顔がかわいいゆい♡
大好きないいいと仲良
く元気に育ってね。

